

令和2年度第1回香美市未来の森づくり委員会会議録（要旨）

1.開催日時、場所	令和2年6月25日（木）午後2時00分～ 香美市役所本庁舎5階委員会室3
2.出欠、傍聴者数	出席者10名 傍聴者2名
3.議題	<p>①新年度メンバーについて</p> <p>②令和2年度森林環境税活用事業について</p> <p>③森林環境譲与税基金の取り崩しについて</p> <p>④令和2年度委員会活動予定</p>
4.会議内容	<p>①新年度メンバーについて 事務局から人事異動等による委員、事務局体制の変更について説明。 ・特に意見等無し。</p> <p>②令和2年度森林環境税活用事業について 事務局から資料①について説明。以下、委員からの主な意見。 ・保育間伐のみでなく、施業に係る合意形成、作業道整備など翌年度以降につながるような事業に事業者が人を回せられるような支援が良いと思う。 ・川中・川下の対策はどうか。 (事務局) 香美市版持続化給付金についてパンフレットを用いて説明。 ・森林経営管理制度開始による意向調査の結果についてはホームページ等で公開し、市民に事業の内容を知ってもらうことで事業の透明性や信頼性の確保につながるのではないか。 (事務局) 今後、意向調査の結果についてはホームページ等での周知を検討する。</p> <p>③森林環境譲与税基金の取り崩しについて 事務局から今後の基金の活用方法や予定について説明。以下、委員からの主な意見。 ・公共的施設建築に係る市産材の活用だけではなく、地元の製材や大工も活用できるようにしてもらいたい。 ・基金の用途については市民に十分説明することが必要。</p> <p>④令和2年度委員会活動予定 事務局から資料①を用いて説明。以下、委員からの主な意見。 <b>【森づくり部会】</b> ・経営に適さない森林の整備事業地については所有者の同意を取るのが難しいのではないか。市有林と民有林を合わせたモデル林を決めて実施してはどうか。 (事務局) 今後は航空レーザー測量成果を森林GISに取り込み、荒廃森林の場所を特定するなどの方法で活用し、モデル林の設定という意見も参考にさせていただきながら検討したい。 <b>【市産材活用部会】</b> ・製材所としては木材需要がないのが厳しい。人口減少の影響もあるが、若い人が家を建てる時にはハウスメーカー等と契約し、使われる樹種などにはこだわりがないように思える。 ・日本建築など市産材が活用されるような木材需要の掘り起こしも必要ではないか。 ・市産材を取り扱うには木材の乾燥ができることが重要。あとは売り手も必要。</p>

・木材の乾燥について市が支援するするならば、全市内製材所の合意が必要と思う。

(事務局)

・市産材の乾燥については支援できればと思っている。関係各所や他自治体の例も勉強しながら、どのような支援が可能か検討したい。

**【担い手対策部会】**

・大工のインターン制度や教育の場を作れば良いと思う。

・支援を受けるために組合やNPO等の組織化が必要ならば、それも検討したい。

(事務局)

・大工は個人事業主が多く、その人件費に対する補助については、公平性の確保が問題になると思う。県などにも相談しながら、どうすれば公明正大な支援ができるのか検討したい。

**【教育・普及PR部会】**

・子ども林業大学校は「かみんぐ KIDS 木の学校」という名称で実施する。

・コロナの影響で7月は関係者のみのプレ開催だが、9月、11月には子どもの実際の感想を聞き取りし、来年度に向けたPRの材料としたい。

(事務局) 資料①で年間のスケジュールを確認。

次回委員会は令和2年11月に開催予定。詳細な日程等は後日調整する。